**2024年2月**

**（一社）岡山県作業療法士会，(一社)岡山県指定自動車教習所協会　共同作成**

**連携シート　記入マニュアル　Q＆A**

Q＆A

〈１枚目〉基本情報シートに関するシート

1. **基本情報**

Q： 「対象者が意見を聞くことができる」，「対象者の病前運転傾向を知っている」，「フォローアップが行える」，「普段から自動車運転をしている or 自動車運転免許証を持っている」の条件を満たしていても、近くに在住していなかったり、タイムリーに協力が得られなかったりした場合は、どういった方にお願いすればいいでしょうか？

A：キーパーソンにおける一番重要な要素は「対象者が意見を聞くことができる」ことです。対象者が、運転に対して再開希望が強ければ強いほど、教習所における講習結果を受け入れることができず反発されることもしばしばあります。特に入院時や対応開始した際より、易怒的であるなど性格的に他者の言うことを聞きづらい対象者の場合ほど、遠方にいる家族（対象者が意見を聞くことができる）に協力を要請して講習日に同行同乗を勧めて下さい。関わり始めた当初より、他者の意見を聞くことができる方であれば、キーパーソンがいない場合にはご本人と相談し，退院後のフォローをお願いできる方（職場の上司・同僚）に依頼するか，ご本人の理解力に応じてキーパーソン不在で支援をすすめてください．キーパーソンが教習所に同行ができない場合には，教習所に電話で状況報告を行い相談するなどの工夫をして下さい．

1. **病前運転状況**

Q:　タクシーやバス運転など職業として運転をする2種免許の場合の対応はどうしたらよいですか？

A： 連携シートは自家用車を使用し日常生活レベルで運転を再開する対象者を評価する為のシートです．タクシーやバスなどに必要な運転の評価は教習所で行うことは難しく，職場や免許センターへの相談が必要です．

Q： １年以内でなくても重大な過失があるときはどうしたらよいでしょうか？（例　２年前に居眠り運転）

A： 過去１年に違反，事故歴がなくても，過去に注意が必要な過失があるときは違反内容，事故内容のところに記載してください．

1. **病前運転傾向**

Q: 病前運転傾向は何のために聴取するのでしょうか？

A:　「教習所において問題となった行動が障害の影響であるのか」 ,「もともとの運転傾向であったのか」 を知る手がかりのために聴取しています．そのため，聴取する際には，「元々の運転傾向についてどうだったのか正確に回答ください」　などと伝えたうえで，病前の運転傾向を聴取してください．

例： 元々の運転は， 「左の巻き込み確認を必ずする」 ，「体を使ってしていた」 と回答があった．しかし，教習所での実車講習では，左折時にミラーでも巻き込み確認をしない事象が生じた．もし，左半側空間無視の対象者であれば，障害の影響が強いと判断できる材料となる．

Q: 病前運転傾向が適切でない場合（速度守らない,事故ばっかりしている等）でも評価を進めていって大丈夫でしょうか？

例：　病前運転傾向は， 「元々一時停止は止まらない」 と回答があった．ルールを守るように教習所の講習前に指導したが，講習中複数回注意したにもかかわらず守ることができなかった．もし，注意障害を要する患者であれば，注意障害の影響から 「一時停止を見落とす」，　「他方に気を取られて一時停止の標識・車線を見落とす」 など注意をしようと努力するも障害の影響によってできなかったと判断することができる．また，交通ルールついては，能力を発揮しても守れないレベルであれば，講習直後すぐに運転を再開するという判断はできない．

**<2枚目>　障害の詳細に関するシート**

1. **障害について**

Q： その他の項目に該当し、道路交通法の基準を満たしていない場合にはどうしたらいいですか？

A： その他の項目が改善しない場合には．運転再開は困難です。今後改善しないことが見込まれる場合には、免許返納制度の紹介や代替手段について紹介して下さい。各施設において、道路交通法に触れている対象者に運転再開支援をしないようにマニュアルやチェックシートの作成をして対応をするようにしてください。

Q： 操作乗降に関する項目はどこに入れたらよいでしょうか？

A： 3枚目の障害の影響が予想される運転箇所の構内講習　「運転開始までの手順」にチェックを入れてください．

1. **認識について**

Q:　検査前は，タイミングが合わず聴取できないことがあります．空欄でもよいですか？

A:　空欄は極力ないように努めてください．対象となりそうな方には聴取する心構えを身に着けてください．どうしても聴取できなかった場合は「未聴取」とご記入ください．

1. **総合コメント**

Q: 性格や個人背景は，運転が必要な理由や代償手段の有無等も記載した方がいいですか？

A: 実車評価に関する情報を優先的に記載し，教習所指導員が把握しておいた方が良いと思われる情報に留めてください．

**＜3枚目＞　講習依頼に関するシート**

1. 講習依頼内容：

Q: 「希望する教習指導員」について、指導員を希望することは可能ですか？

A: 教習所によっては教習指導員を個別に指定することも可能ですが，事前に連携教習所にご確認ください．

Q：構内でのパイロンスラロームとはどのような課題ですか？

A：（写真）：以前高齢者講習でも実施していた課題であり、2車線を使用し、中央にパイロンを等間隔で設置します。その間を右から左からと交互に車体を右左にジグザグ走行する課題です。主には、ハンドルのスムーズで的確な切り替えや、空間処理について評価をすることができます。

（写真）：パイロンの間を交互に切り返して走行する



②　講習の枠組み

Q: CRTについて詳しく知りたいです。

A: 「CRT運転適性検査器」のことで，自動車の運転に必要な動作能力を測定し，安全運転の助言をする検査機器です．教習所に設置されています．また種類も様々なあるため、連携している教習所のCRT検査がどのようなものかは事前に確認するようにしてください。

**＜5枚目＞　講習結果に関するシート**

Q: 「その他講習の結果を数値化したツール」とは何ですか？

A: 参考書等に記載されている評価ツールや，オリジナルの評価ツールを使用している場合は，そのツールの用途に合わせて記載欄をご使用ください．

Q: ROAD TESTでフィードバックをしているが，その内容はどこかに記載するべきか？

A: 特に記載欄は設けていませんが，必要の際は「医療機関における結果」のコメント欄をご利用ください．

Q: 実車評価前に4枚目まで教習所に送付して終了後に５枚目を完成させて，教習所にも送付するのですか？

A: 実車評価前には，4枚目までを教習所に送付してください．5枚目に関しては，連携している教習所とご相談の上，先方が必要とする場合は送付をお願いいたします．